発表概要_萌芽的研究・実践セッション（発表と対話）_吉田楓実子

○主発表者：吉田楓実子（京都橘大学総合心理学部）
連名発表者：石山裕菜（京都橘大学）

○タイトル：パッケージ画像の位置による重量感知覚および重要性知覚の検討

本研究では猫の画像を用いて、画像掲載位置（上／下）と ANFT（高／低）が重量感知覚および購買に対する重要性知覚に与える影響について検討した。

京都橘大学の学生 87 名に質問紙実験を行った。猫が上または下に掲載されたチョコレートのパッケージ画像を提示した後、質問紙に回答させた。質問紙では重量感、重要性、画像の評価などを尋ねた。

結果、画像掲載位置で評価に差が見られ、パッケージ画像による交絡の可能性が示された。また、ANFT が高い消費者は重量感を知覚しやすい傾向が示されたが、画像掲載位置による重量感および画像掲載位置と ANFT による重要性の知覚に有意な差は示されなかった。一方、重量感を予測する因子として高級感と典型性が示された。

重要性は重量感が生じることにより生じると外川・朴（2017）が説明している。重量感が知覚されなかったことが、重要性知覚の差が認められなかった一因である可能性がある。人は同じ情報に接していても、画像の位置などにより異なる知覚を形成する可能性が示唆されたことから、その個人差を理解することは多様な人々への理解や支援を考えるうえでも重要である。